

**原案に対するパブリックコメント意見とりまとめ一覧及び対応表** (R2.11/17 ~ 12/14 パブコメ及び説明会)

8名(うちパブコメ0名、説明会8名) 23件の意見、感想

頁	項目	ご意見	対応
	全体構想	○とても良いと思う。大磯町のイメージを活かした内容になっていると思う。 (アンケート 30代男性・大磯)	○ひきつづき「まちの将来像」の実現に向けて取り組んでまいります。
		○まあ良い。(アンケート 70代以上女性・石神台)	○ひきつづき「まちの将来像」の実現に向けて取り組んでまいります。
		○まあ良い。人口減少や今後の社会情勢の変化に伴う町の在り方を見据えて、改善できる点もあると思う。(アンケート 50代女性・高麗)	○「本計画策定の基本的な考え方(30頁)」として、社会経済情勢の変化等を踏まえ、総合計画における重点施策との整合性を図るとともに、社会環境に大きな変化があった場合は、迅速かつ適切に変容させる適応力を本計画にもたせる事としています。ひきつづき「まちの将来像」の実現に向けて取り組んでまいります。
		○あまり良いと思わない。全体的に抽象的で上滑りしている感じ、もう少し方向性をはっきりした方がよい。(アンケート 70代以上男性・東小磯)	○本計画は、町の土地利用や都市計画の基本となる計画で、自治によるまちづくりとして、町民・事業者・行政の共通の目標となります。これを指針として、まちづくりに係る各部門の個別計画等により具体的かつ詳細な方向性が示されてまいります。(4頁)
		○あまり良いと思わない。言葉がちょっと綺麗ごとを感じる。 (アンケート 70代以上女性・東小磯)	○現在の社会経済情勢を見据えた「まちの将来像」の実現に向けて、今後10年間において実現可能な事項を記載しました。そのうえで、これからのまちづくりを進めていくためには、「コミュニティでつながるまち」により皆でまちを創造するしくみが必要と考えます。
		○まあ良い。本当に必要か不明の道路(仮・湘南新道)の記載がある。 (アンケート 60代女性・大磯)	○大磯町は南北の移動軸となる機能が弱いとの課題がワークショップ等を通じ指摘されています。また、神奈川県「大磯都市計画都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」において構想路線と

			して位置づいているため、広域的な連携を図り防災力の強化につなげていくためにも、今後 10 年間で計画の具現化を促進していく考えです。
		○まあ良い。大磯町は住むには良いところ。 (アンケート 60 代男性・西小磯)	○ひきつづき「まちの将来像」の実現に向けて取り組んでまいります。
		○まあ良い。ニューノーマル時代を迎えて、常に変化、進化が求められると思う。多様な意見を取り入れてレスポンスを大切にしてほしい。 (アンケート 50 代女性・高麗)	○ありがとうございます。ひきつづき「まちの将来像」の実現に向けて取り組むとともに、情報共有に努めてまいります。
	地域別構想	○とても良いと思う。今後の発展に期待が持てる。 (アンケート 30 代男性・大磯)	○ひきつづき「まちの将来像」の実現に向けて取り組んでまいります。
		○まあ良い。地域の特性をより絞り込んで、まちづくりの土台となる地域づくりをより具体的に考えていったらどうか。(アンケート 50 代女性・高麗)	○本計画は、町の土地利用や都市計画の基本となる計画で、自治によるまちづくりとして、町民・事業者・行政の共通の目標となります。これを指針として、まちづくりに係る各部門の個別計画等により具体的かつ詳細な方向性が示されてまいります。
		○地区まちづくり計画についても、もっと住民に働きかけるべき。そうでないと広がらない。(アンケート 70 代以上男性・東小磯)	○おっしゃる通りです。地区まちづくり計画（協定）は、まさに本計画の自治のまちづくりの方針を具現化した事例（成果）となります。地域活力などにより定められたこれらの計画は、地域づくりに直結するものとして、地域別構想の方針図の中に位置づけました。また、これらの取り組みを実行し具現化させることは、関わった皆さんの自信や充実につながるものと考えます。ひきつづき、皆さんとともに取り組みを拡げてまいりたいと存じます。
		○計画と実態があまり合っていない。(アンケート 70 代以上女性・東小磯)	○現在の社会経済情勢を踏まえ、現在の町の現況と課題（実態）を抽出し、解決していくための方策を計画に込めました。ひきつづき「まちの将来像」の実現に向けて取り組んでまいります。

		<p>○まあ良い。大磯駅周辺の記述は前（現）計画より良くなった。公共施設の管理計画・・・は新たな施設を建てないと理解するが・・・。 （アンケート 60 代女性・大磯）</p>	<p>○「大磯町公共施設等総合管理計画」は、公共施設等の更新と長寿命化の計画的な推進を図ることを目標の一つとしています。また、具体的な管理手法等については、個別計画により詳細を定めてまいります。 新庁舎整備については、その個別計画の検討が進められていますので、その旨を記載いたします。</p>
		<p>○まあ良い。明治記念大磯邸園などがオープンすると食事処がない・・・。 （アンケート 60 代男性・西小磯）</p>	<p>○当該地は、歴史文化交流拠点として配置しました。まちの拠点のほか、みなと交流拠点、みどりの拠点を分散配置し、これらが繋がって活性化していくようなまちづくりを促進してまいります。</p>
		<p>○まあ良い。小さなことからでも「変わる」努力を。 （アンケート 50 代女性・高麗）</p>	<p>○努力します。「まちの将来像」は昔から変わっていません。この「変わらない」のために、様々な価値観や姿勢、習慣など「変わる」努力が必要かと存じます。ともに取り組んで頂けましたら幸いです。</p>
	その他	<p>○オープンハウス（展示型）方式だったので、シンポジウムとするより、興味ある部分についてじっくり見ることが出来て良かった。また、（まちづくりの方針に合わせた）写真のスライドショーがあったことで、イメージを膨らませることができ、とても良かった。（アンケート 30 代男性・大磯）</p>	<p>○今後の参考とさせていただきます。コロナ禍を受けて、密にならない開催方法を検討した結果、オープンハウス方式を採用いたしました。説明会等の開催方法は、それぞれに利点や効果があるかと存じます。今後も状況に応じ、情報共有の場の在り方について検討してまいります。</p>
		<p>○シンポジウムを開催した方が分かりやすかったと思う。 （アンケート 70 代以上女性・石神台）</p>	<p>○今後の参考とさせていただきます。コロナ禍を受けて、密にならない開催方法を検討した結果、オープンハウス方式を採用いたしました。説明会等の開催方法は、それぞれに利点や効果があるかと存じます。今後も状況に応じ、情報共有の場の在り方について検討してまいります。</p>
		<p>○オープンハウス方式説明会について、予定していたシンポジウムよりじっくり見ることができて良かった。疑問的なこと、関心ある点をより詳しく聞くことができるので、シンポジウムより良いと思う。（アンケート 50 代女性・高麗）</p>	<p>○今後の参考とさせていただきます。コロナ禍を受けて、密にならない開催方法を検討した結果、オープンハウス方式を採用いたしました。説明会等の開催方法は、それぞれに利点や効果があるかと</p>

			存じます。今後も状況に応じ、情報共有の場の在り方について検討してまいります。
		○自然環境保全のためにも、自然環境に影響を及ぼす開発はやめて、自然に則した方法で大磯のまち並みを守ってほしい。 (アンケート 50 代女性・東小磯)	○緑豊かなゆとりある住宅地をつくるため、住宅地の空間形成においては、低中層を中心とした道沿いから庭の緑が垣間見えるような良好な土地利用を図ってまいります。
		○大磯の特徴は、みどりと海と歴史だと思うが、歴史は近代の別荘地のことに片寄りすぎている。大磯は古代の文学や記録にも登場しており、近代は平塚宿よりも大きい宿場町であった。それをまちづくりに活かしてほしい。大磯は別荘地だけではなかったと思う。(アンケート 70 代以上男性・東小磯)	○おっしゃる通り、大磯町は別荘地だけではございません。いまなお遺る旧東海道の宿場、街道筋のまち並みは、守り育み生かしてまいろう計画(大磯地域・小磯地域・国府南地域)に位置づけてございます。
		○説明会では、職員さんのご説明が親切だった。現状維持することに、もっとエネルギーを使ってほしい。(アンケート 70 代以上女性・東小磯)	○エネルギーを使います。様々な価値観や姿勢、習慣など「変わる」努力が必要かと存じます。ともに取り組んで頂けましたら幸いです。
		○シンポジウムでは発言に制約(やり方にもよるが)が設けられがちなので、オープンハウス方式は新鮮。両方の利点を生かすと良いのでは。また、皆さんのエネルギーを感じた。ワークショップの跡も直接見ることができて良かった。(アンケート 60 代女性・大磯)	○今後の参考とさせていただきます。コロナ禍を受けて、密にならない開催方法を検討した結果、オープンハウス方式を採用いたしました。説明会等の開催方法は、それぞれに利点や効果があるかと存じます。今後も状況に応じ、情報共有の場の在り方について検討してまいります。
		○説明会は、町の職員と話ができて良かった。説明により理解ができた。大磯は、観光というより環境のまち。多くの若い方が大磯に移住してほしい。 (アンケート 60 代男性・西小磯)	○「観光というより環境のまち」という表現は、非常に言い得ているのではないのでしょうか。ありがとうございます。ひきつづき「まちの将来像」の実現に向けて取り組んでまいります。